



# 役職者による座談会

## 役職者が話す技術職の魅力

### |名古屋市の技術職の特長は?

**河合** まず、名古屋市は政令指定都市であり、事業規模が非常に大きいことが挙げられます。私が所属する上下水道局でも多くの資産を有しながら事業を展開しています。他の自治体と比べて大規模な事業に携われるチャンスが多いです。

**鶴田** 河合さんが言うとおり中部圏で有数の大都市であり、職員の数や予算の規模も違います。また、規模が大きい故に、学んできたことを通して様々な分野で活躍できます。私は建築区分で市役所に入りましたが、所属している住宅都市局はもちろん、上下水道局でも環境局でも建築区分の技術者が活躍しています。同じ建築区分でもやっている仕事は違う。ほかにも都市計画やまちづくりに関する部署もありますし、バラエティに富んだ仕事を経験できるのも魅力でしょう。

**寄高** 私も同感ですね。私が所属する環境局でも事業規模の大きなものがあります。例えば、2020年3月まで稼働していた南陽工場は日本で2番目の処理能力を誇るごみ処理施設でした。こうした大規模な施設の計画から建設、運営までに携われるのが特長であり魅力だと思います。

### |他の部署と協力して事業に取り組むことはありますか?

**鶴田** 大きな事業になればなるほど多いです。特に私が所属する住宅都市局は、事業の大小こそありますが、ほぼすべての局と関わりを持っています。今ちょうど寄高さんが所属する環境局と、南陽工場の設備更新に関する事業に一緒に取り組んでいるところです。

**寄高** 私たち環境局が求めていることを住宅都市局に伝えることから始まり、綿密な打ち合わせを重ねながら更新計画を練っています。ほかには西区にある山田工場の解体も住宅都市局と協力しながら進めています。

**河合** 上下水道局ですと、浸水対策のため、河川を担当している緑政土木局と協力して事業を進めています。組織の縦でも横でも関わりは非常に多い仕事だと思います。

**鶴田 法仁**

住宅都市局 営繕部 営繕課長

経歴

1988年	建築局 営繕部 営繕課
1988年	建築局 営繕部 学校建築課
1999年	建築局 営繕部 営繕第二課
2000年	住宅都市局 営繕部 街路計画課 主査(交通まちづくり)
2003年	環境局 環境都市推進部 環境都市推進課
2005年	住宅都市局 都市計画部 都市計画課

大勢の方々と関わっていく仕事  
コミュニケーション能力は欠かせません

**河合 克敏**

上下水道局 技術本部 建設部 工務課長

経歴

1992年	下水道局 業務部 第二管路事務所
1994年	下水道局 建設部 第二工事事務所
2000年	上下水道局 下水道本部 下水道建設部 施設課
2006年	日本下水道事業団(派遣)

大きな事業にチャレンジできる面白さ  
このまちに爪痕を残してください

**寄高 正剛**

環境局 施設部 主幹(建設設計)

経歴

1992年	環境事業局 施設部 猪子石工場
1995年	環境事業局 施設部 設計事業室
1998年	環境事業局 施設部 工場課

異動を通して知識も経験も積み重ねていける  
自己成長が望める仕事です

鶴田 国や県と協議して進める事業もありますからね。民間の事業者の方々を含め、どの局にいても様々な人たちと仕事をするわけですから、コミュニケーション能力は大切だと感じます。

鶴田 そうですね。前例のない仕事にチャレンジできる機会が多いです。それもこの仕事の面白さですね。

寄高 異動も同じで、新しい環境に身を置くことで、発見と刺激が得られます。常に勉強する必要がありますが、知識と経験は必ず自分の財産になります。たとえまったく関係のない分野に異動することになったとしても、それまでに培ったことは必ずどこかで役に立つはず。自己成長を楽しめる職場だと思います。

最後に受験を考えている方々に向けて  
メッセージをお願いします。

**河合** 名古屋市は大きな事業が多いですが、単純に予算規模だけでなく、技術者として幅広い仕事に挑戦できるのも魅力です。

**鶴田** 建築区分の立場からお話をすると、建物を建てることもあれば、都市計画やまちづくりに携わることもあるなど、幅広い事業で活躍することができます。前向きでチャレンジ精神を持っている方と働きたいですね。

**寄高** 水道や地下鉄など、日常生活で利用するもの多くに市が関わっており、技術職の活躍する場が多くあります。共により良い名古屋をつくっていきましょう。